

山口県の ツキノワグマ保護管理マニュアル

<被害防止及び人と自然の共生のために>



西中国山地（山口県、広島県、島根県）はツキノワグマの生息地です。ツキノワグマの保護と管理について、「特定鳥獣（ツキノワグマ）保護管理計画」において3県が共通の目標を定めるとともに、「ツキノワグマ管理活動指針」と「問題グマ判断指針」で共通の指針を定めて、捕獲や放獣等の対応について統一的に行うことにしました。



ツキノワグマは山口県の豊かな自然環境の中で生きている希少な陸上動物です。共存していくために、ツキノワグマのことを正しく理解しましょう。

1 ツキノワグマはどんな動物なの？

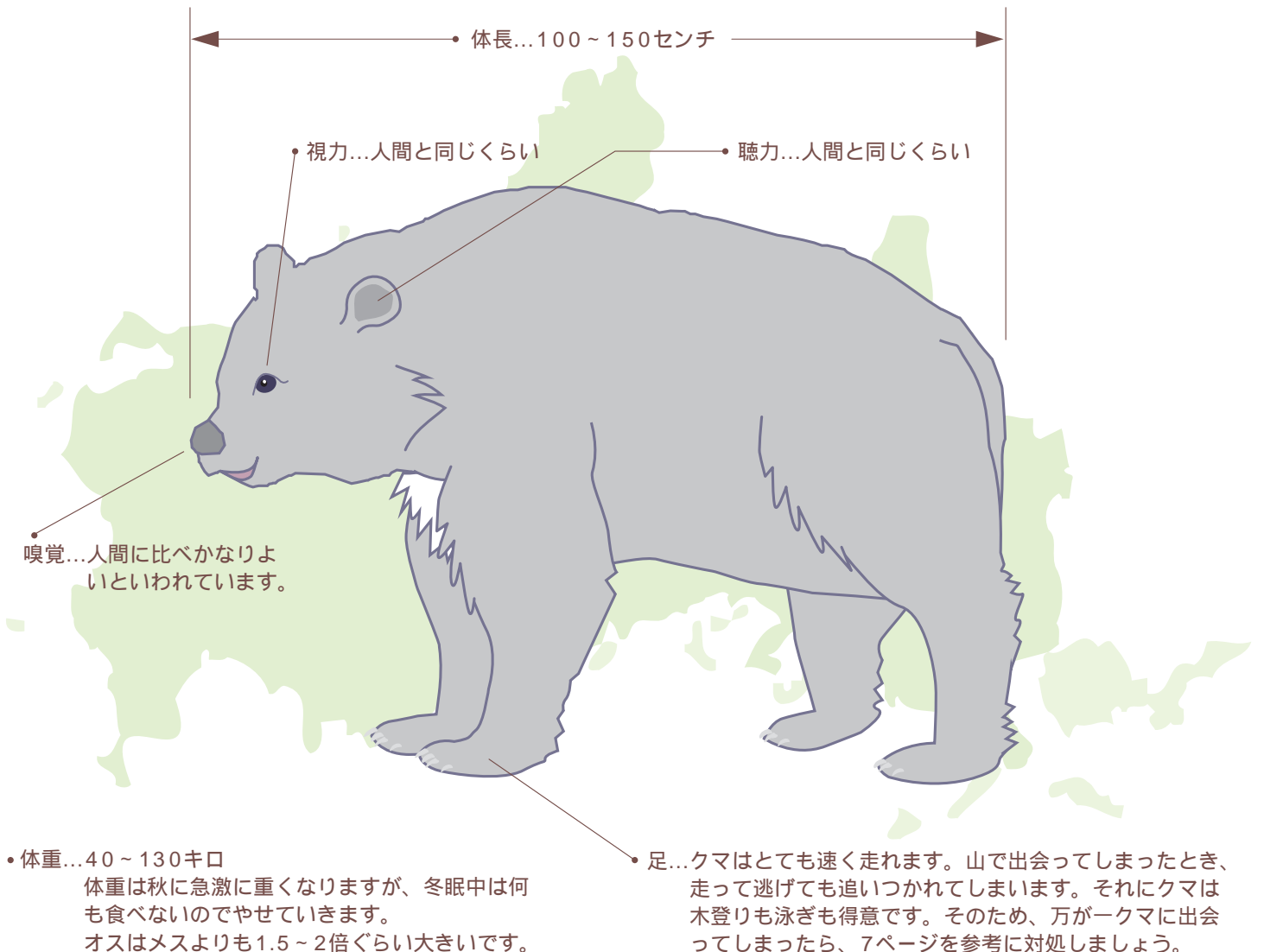
山口県内に生息するツキノワグマは、本州西端の西中国地域（山口県、広島県、島根県）個体群に属しています。ほかの生息地から孤立していることや繁殖率が低いことなどから絶滅のおそれがあります。

一方で人里に出没し、人身被害のおそれや、農作物等に被害を発生させるなどの問題も起きています。

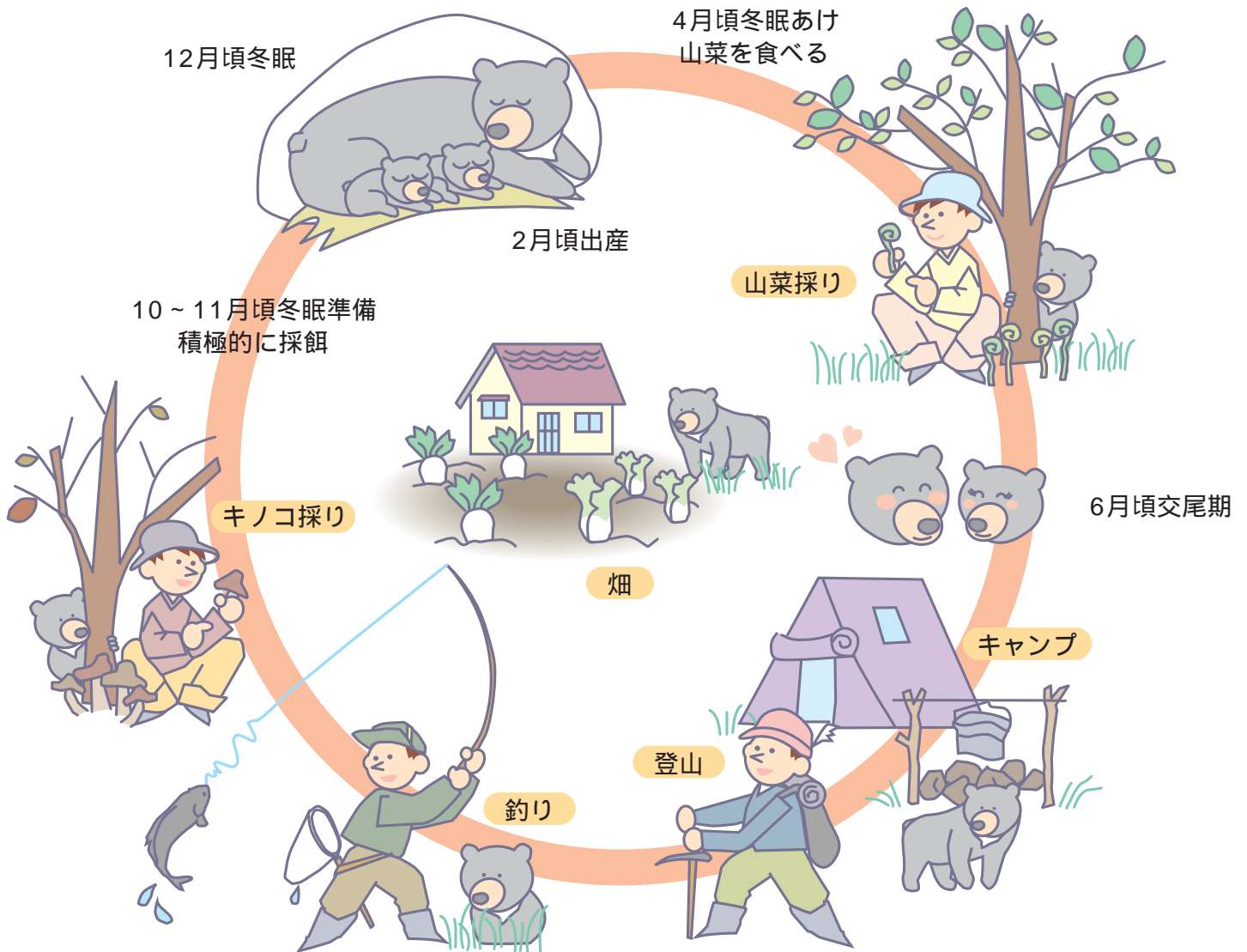
そこで、県ではツキノワグマと共存していくために「特定鳥獣（ツキノワグマ）保護管理計画（平成19年度3月31日まで）」を策定しました。この計画では地域との合意形成をとりながら被害防除対策、個体群管理、生息地の保護及び整備、普及啓発について目標を定め、総合的な施策を実施することとしています。

環境省レッドデータブック...絶滅のおそれのある地域個体群
レッドデータブックやまくち.....絶滅危惧IA類

大きさ

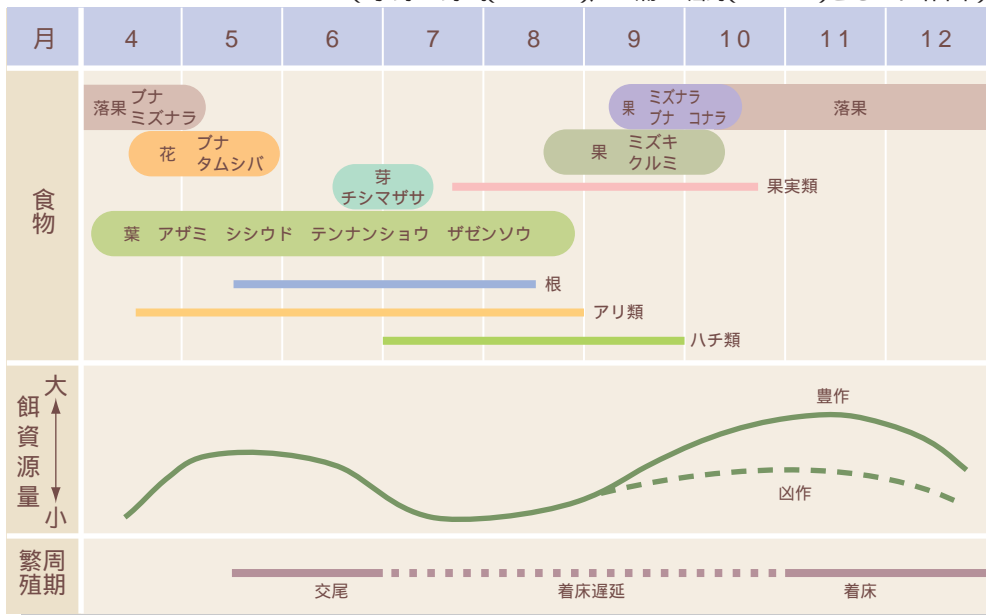


ツキノワグマの1年の生活



ツキノワグマの食物と、餌資源量の季節変化、繁殖周期

(水野・野崎(1985)、三浦・堀野(1999)をもとに作図)



受精卵は交尾してすぐにできますが、しばらく子宮内で浮遊していて、冬眠に入る頃に子宮へきに着床します。(着床遅延)。凶作で餌資源が少ないと着床せずに消失または流産するといわれています。

2 被害を防ぐために

電気柵の設置

クマを近づけないためには、電気柵の設置が有効です。電気柵には低電圧の電流が流れています。これにさわっても死ぬことはありませんが、さすがのクマもしびれて逃げ出してしまうます。耕作地にクマを近づけないようにするには最も効果的な手段です。



電気柵の設置

トタン巻き

人家付近のカキやクリを食べにクマが出没することがあります。あらかじめ木にトタンやビニールテープを巻いておくと、登りにくくなって被害を妨げます。



トタン巻き

誘因物の除去

ハチの巣や実がなったままにしてあるカキの木など、クマが好きな食べ物が人里近くにあると、それを目当てにクマがやってきて、そこに居着いてしまうことがあります。

このような誘因物は早めに取り除きましょう。

有害獣捕獲

人を恐れず、人前にたびたび姿を見せたり、人為的食べ物に餌付いてしまったり、農作物に顕著な食害をしたり、人間への攻撃的な行動をしたりしたクマについては「問題グマ判断指針」により、除去することとしています。

3県全体で除去数の上限目標値（48頭）を決め、これを越えないよう各県が協力し、努力していくことにしています。



3 問題グマを作らないで(「問題グマ判断指針」より)

人間の出す残飯や生ゴミの味を覚えたクマは、それを求めてゴミ置き場やキャンプ場などに繰り返し出てきます。ゴミの後始末はきちんとしましょう。野外に放置したり、埋めたりすることは、クマを呼び寄せ危険です。



家庭生ゴミの処理



キャンプ場のゴミ管理



ゴミの持ち帰り



廃棄農作物の処理



4 クマに出会わないために

自分の存在をクマに知らせる

クマは、聴覚や嗅覚が優れているため、ほとんどの場合、人よりも先に人間の接近を知って繁みなどへ逃げていきます。笛や鈴、ラジオなど音の出るものを携帯し、自分の存在をクマに知らせましょう。



山にクマがいるのは当たり前

西中国山地は、クマの生息域なので、山奥にクマがいるのは当然と思って山に入りましょう。クマの糞や足跡を見つけたらすぐに引き返すなど、細心の注意が必要です。

ツキノワグマの足跡



山菜採りは、ほどほどに

人間が好きな山菜は、クマにとっても大好物。山菜の採れる季節はクマもエサを求めて活発に動き回っていますので、糞や足跡などを見たらすぐに引き返しましょう。また入山の際は、できるだけ2人以上で行動しましょう。

悪天候の日は注意

雨や風の強い日、霧の濃い日は、クマも人の気配に気づかず、至近距離まで接近することがあります。普段以上に注意しましょう。



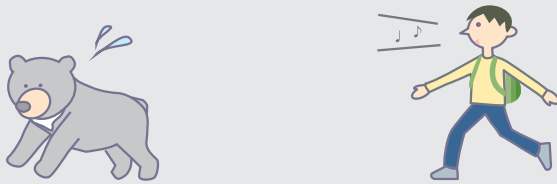


5 クマに出会ってしまったら

遠くにクマの気配を感じたら...落ち着いて状況判断してください。クマが気が付いていなかったら、こっそりその場を離れましょう。クマが気が付いていたら、クマの動きから目を離さないように、クマの移動方向とは逆の方向に離れましょう。

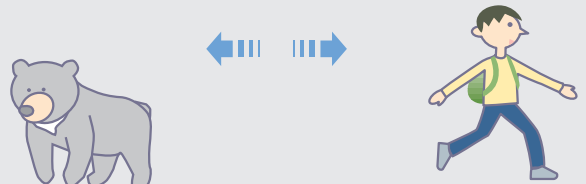
クマが気づいていない場合

遠くにいれば、そっと離れるか声をかけてこちらに気づかせましょう。逃げて行くはずで、近くにいる場合は静かに離れましょう。



クマが気づいて逃げていく場合

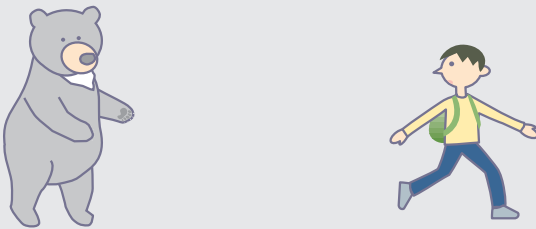
クマとは反対の方に行きましょう。



でも近づいて来たら...クマの目をにらみつけながら、ゆっくり後退してください。このとき、ペットボトルなどクマの注意をひきそうなものを、少しずつ置いて時間を稼ぎましょう。

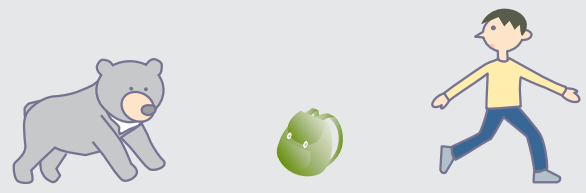
クマが気づいて動かないとき

ゆっくり、クマから見えない位置まで離れましょう。



クマが気づいて突進してくるとき

危険な状態です。持ち物をおいてクマの気をそらせてみましょう。



子グマを見ても決して近づいてはいけません！必ず近くに母グマがいます。子グマを守ろうとして、人をおそうことがありますので危険です。



6 誤ってクマを捕獲しないために

イノシシ用の捕獲ワナに誤ってツキノワグマが捕まることがあります。このような捕獲を「錯誤捕獲」といいます。錯誤捕獲を防止するためにワナの設置や管理に気を付けましょう。

箱ワナ

箱ワナは天井部にツキノワグマが脱出できる程度の穴を開ける。

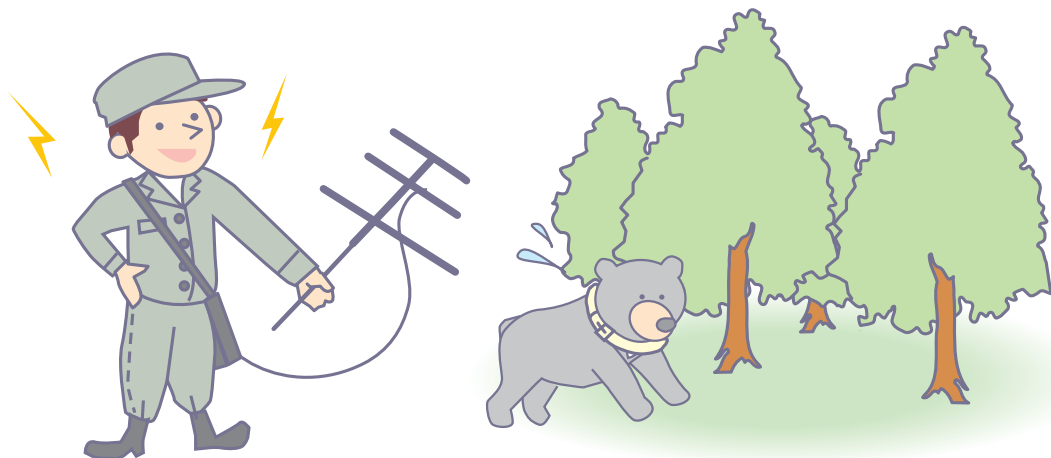
くくりワナ

くくりワナのワイヤーは太さ4mm以上のものを使い、地面に掘る穴は直径15cm以下にする。



7 誤ってクマを捕獲したときは

しかし、万が一誤ってクマを捕獲してしまった場合は、山に戻していくことにしています。その際、クマが人里に二度と近づかないようにするためにトウガラシ抽出成分が入っているスプレーを吹きかけたり、爆竹を鳴らしたりして、人間の存在を恐れさせるように学習（お仕置き）を行っています。放獣するクマには発信機を装着し、放獣後の行動や学習の効果を調べています。



8 クマを目撃したときは

クマを目撃したときは、地元の市町役場、猟友会支部、警察署又は下記農林事務所に御連絡下さい。

山口県岩国農林事務所森林部

〒740 - 0016 岩国市三笠町1丁目1 - 1

TEL0827 - 29 - 1567

山口県田布施農林事務所森林部

〒742 - 1502 熊毛郡田布施町波野585 - 1

TEL0820 - 52 - 2854

山口県周南農林事務所森林部

〒745 - 0004 周南市毛利町2丁目38

TEL0834 - 33 - 6463

山口県山口農林事務所森林部

〒753 - 0064 山口市神田町6 - 10

TEL083 - 922 - 6700

山口県美祢農林事務所森林部

〒759 - 2212 美祢市大嶺町東分3449 - 5

TEL0837 - 52 - 1071

山口県下関農林事務所森林部

〒750 - 0421 下関市豊田町殿敷1892

TEL083 - 766 - 1182

山口県長門農林事務所森林部

〒759 - 4401 長門市日置上1372 - 1

TEL0837 - 37 - 2155

山口県萩農林事務所森林部

〒758 - 0041 萩市江向河添沖田531 - 1

TEL0838 - 22 - 3366